

豪雨災害が県内各地で続発!

9月は防災月間 事前の備えを見直そう

台風による災害が全国各地で発生する9月。南勢エリアでも豪雨災害が幾度となく甚大な被害をもたらしてきた。災害から身を守るためにあらためて知っておきたいポイントとともに、県や地元各市町の災害対策の取り組みを紹介する。

三重県・各市町の防災対策の取り組みに注目

県庁では大規模な災害対策シミュレーションを実施

毎年のように、「観測史上最大」「記録的豪雨」といった言葉が飛び交うこの時期。昭和34年9月の伊勢湾台風をはじめ、近年でも平成23年に熊野市、御浜町、紀宝町などを中心に長時間にわたって激しい雨が降り続き、堤防の決壊によって2700棟以上が浸水被害に遭った紀伊半島大水害や、平成16年に大台町(旧宮川村)で6名の死者が出た台風21号豪雨土砂災害は大きな

ニュースとなった。平成29年10月には伊勢市内で街なかを流れる川の水が溢れ、広範囲にわたって浸水被害が発生している。

三重県では大雨警報等が発表された時点で災害対策本部を設置。24時間体制で職員がチームを組んで災害対策室で各市町や公共交通機関、ガスや電力会社などの状況の情報収集にあたる。

「災害発生時の危険性が高まってから災害対策本部を設置する自治体が多い中、大雨警報等が発令されると同時に設置するという全国的に例



年に一度行われる総合回上訓練の様子

の少ない体制を取っています。三重県防災対策部の藤澤さん。甚大な被害が発生した伊勢湾台風を教訓に、災害対応の体制の充実が図られてきたのだという。災害対策本部では河川の水位や土壌雨量データなどを注視し、各市町担当者と洪水や土砂災害の発生危険度の情報を共有することにも、状況によっては救助機関に派遣要請を行う場合もある。

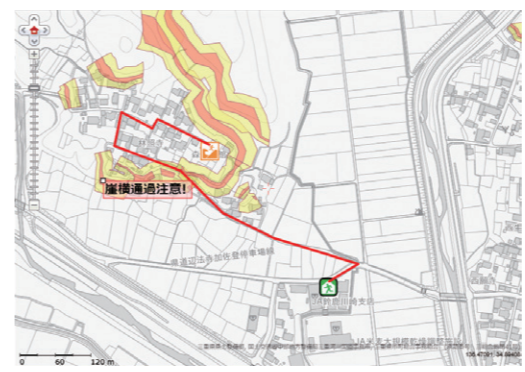


堤防の決壊により浸水被害に遭った紀伊半島大水害～平成23年台風12号による災害の記録～より

また、毎年9月頃には県庁の関係部署が参加して、災害発生時の対応をシミュレーションした総合回上訓練を実施。昨年は台風による大規模被害を想定し、県内22市町をはじめ、自衛隊、消防本部、電力・ガス会社や通信会社などの関係機関も参加して、迅速に災害対応にあたるためのロールプレイング訓練を行うなど、頻発している台風災害への対策強化を図っている。

WEB上で避難計画を作成できるハザードマップも

防災対策部では災害発生時の対応にあたることも、災害への備えを啓発する業務も担っている。台風の際には気象情報の入手や住まいの点検、非常持ち出し品の準備などが必要になるが、まずは日頃からハザードマップを確認しておくことの大切さを訴えているという。



Myまっぷラン+ (プラス)で作った避難経路入りマップ

マップに津波や洪水の浸水区域や土砂災害の警戒区域、最寄りの避難所を表示する「Myまっぷラン

「プラス」を公開している。パソコンやタブレットで危険区域を避けた避難経路や行動計画を作成



8月9日・10日に開催された「防災キャンプwithみえ学生防災啓発サポーター」の様子

することができるとして活用できる人にとっては災害の備えとして心強いツールだ。

若者の防災意識を高める啓発サポーターを育成

防災への意識は強く持っている人もいれば関心の薄い人もいる。みえ防災・減災センターでは若い世代への防災啓発に力を入れるための取り組みとして、今年6月から「みえ学生防災啓発サポーター」の養成をスタートした。対象は県内の大学生、高校生や20代の社会人。若者世代に向けた防災情報の発信や地域の防災活動を支援する役割を担うことになる。

養成プログラムの一環として、

8月9日・10日には啓発サポーターが子どもたちに防災の知識やスキルを伝える「防災キャンプwithみえ学生防災啓発サポーター」を鈴鹿サーキットファミリーキャンプ場で実施。また11月には東北の被災地で災害ボランティア活動を行うなど、防災の担い手として育成するとともに、公式アカウントを設置してツイッターやインスタグラムなどのSNSでもさまざまな活動の様子や啓発情報を発信していく予定だという。

防災サイト情報

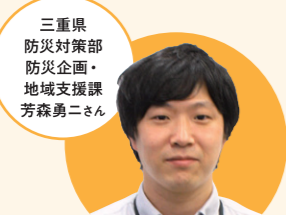
Myまっぷラン+
URL mmrp.midimic.jp/mmrp/

防災みえ.jp
URL www.bosaimie.jp
※防災情報をインターネットとメールで配信

多発する自然災害の被害を最小限に食い止めるために、一人ひとりが防災への関心を高めることが求められている。

取材にご協力いただいた三重県防災対策部の皆さん

大雨警報等が発令されるたびに設置される災害対策本部。招集された職員は24時間2交代制で災害対応にあたる。



松阪市・多気町・明和町・大台町の取り組み

住民の命を守ることを最優先に 日々防災対応にあたる

各市町では防災担当部署が県が実施する総合回上訓練に参加し、災害時を想定した連携体制を確認することにも、防災啓発冊子や防災情報配信アプリ、防災訓練などさまざまな方法を通して防災に対する意識を高めている。また、それぞれの地域の特性によって大雨の際の川の氾濫や浸水、土砂崩れなど災害が想定されるため、危険エリアを指定したハザードマップを随時更新し、早めの避難情報を発令するなど、住民の命を守ることを最優先に日々防災対応にあたっている。

- 取材協力/松阪市 防災対策課
多気町 総務課 防災係
明和町 総務防災課 防災防犯係
大台町 総務課
- 山中市 菅真さん
山下雄也さん
中林俊輔さん
山下 晃さん